

## 19-9-2 不具合現象項目別トラブル シューティング

### (1) 冷房の効きが悪い

#### ▷1.冷房性能点検

1. 冷房性能点検を行う。

(K1.1-3-1 項 (K1-2 ページ) 参照)

▼OKの場合は、冷房性能に問題なし。

▼NGの場合は、▷2 へ進む。

#### ▷2.コンプレッサ作動点検

1. A/C SWを"ON"したときのコンプレッサの作動を点検する。

**基準** マグネット クラッチが"ON"し、コンプレッサが作動する。

▼OKの場合は、▷3 へ進む。

▼NGの場合は、"コンプレッサ マグネット クラッチが"ON"しない"のトラブル シューティングを行う。

(K1.19-9-1 項 (K1-60 ページ) 参照)

#### ▷3.ラジエータ ファン作動点検

1. コンプレッサ"ON"時におけるラジエータ ファンの作動を点検する。

**基準** ファンが回転する。

▼OKの場合は、▷4 へ進む。

▼NGの場合は、ラジエータ ファン回路を点検する。

(B8.9-13-5 項 (B8-132 ページ) 参照)

#### ▷4.ブロワ モータ作動点検

1. ブロワ モータの作動を点検する。

**基準** ブロワSWの操作に応じて風量が変わる。

▼OKの場合は、▷5 へ進む。

▼NGの場合は、"ブロワ モータが変速しない"のトラブル シューティングを行う。

(K1.19-9-1 項 (K1-60 ページ) 参照)

#### ▷5.冷媒圧力測定

1. マニホールド ゲージを取り付ける。
2. エンジンを暖機運転した後、車両を下記の条件にセットする。

項目	条件
車体	無風、日陰の停車状態
ドア、フード	全開
A/C SW(マグネット クラッチ)	ON
エンジン回転数	1500rpm
内外気切り替え	内気
設定温度	MAX COOL
ブロワ スピード	HI
外気温度	30℃
湿度	50%

3. 冷媒の圧力を測定する。

#### 正常圧力値(参考値)

ゲージ	圧力値
高圧側	1.4~1.8MPa
低圧側	0.21~0.28MPa

〔参考〕・圧力値は環境条件(外気温、日射、地熱、風)や、車両条件(エンジン熱、車両熱負荷)等により変動するため、上記の値はあくまで参考とする。